

## 案件概要書

2013年6月25日

国際協力機構南アジア部南アジア第四課

### 1. 案件名（国名）

国名：バングラデシュ人民共和国

案件名：航空保安設備整備計画

(The Project for Airport Safety and Security Systems Improvement)

### 2. 事業の背景と必要性

#### (1) 当該国における航空セクターの開発実績（現状）と課題

バングラデシュには、ダッカ、チッタゴン及びシレットの3都市に国際空港、その他7都市に国内空港が配置されている。これらの空港においては、近年のバングラデシュ経済の着実な成長にともない、ダッカ国際空港における航空旅客の年平均増加率は8.4%に達するなど航空需要量の増加が顕著である。

バングラデシュ経済における外貨収入は、欧米への生産・輸出拠点となっている繊維業等の輸出産業と中東等への出稼ぎ労働者による送金に大きく依存しており、これらはいずれも航空輸送によって支えられている。また、近年バングラデシュでは、中所得層の増加により、国内線においても長距離交通手段として空路の利用が増えている。このようにバングラデシュにおける航空輸送は、同国の社会経済活動を支えるインフラとして極めて重要な役割を果たしている。しかしながら、同国における航空機の安全運航に必要な設備整備が遅れており、大きな課題となっている。民間航空局（CAAB）は、ダッカ空港に設置されているレーダーにより航空路上の航空機監視を行っているが、東南アジアと欧州を結ぶ主要な国際航空路が設置されている南部洋上空域までレーダーの電波が届かず、この空域を運航する航空機の監視が行えない状況にある。また、チッタゴンやジョソールなど主要な国内空港においては、航空無線標識設備の老朽化が進んでおり、安全性確保のために機材の早急な更新が求められている。同国の玄関空港であるダッカ国際空港においては、テロ対策である手荷物のX線検査の精度向上について、国際航空運送者協会（IATA）より早急な改善が求められているほか、老朽化した消防車両の早期更新についても緊急時対策として必要性が高い。

#### (2) 当該国における航空セクターの開発政策と本事業の位置づけ及び必要性

バングラデシュ政府は、第6次五か年計画（2011-2015年）において、航空保安設備の近代化を主要な目標として掲げており、本事業はその政策に合致するものである。

#### (3) 当該国における航空セクターに対する我が国の援助方針

本案件は、JICA 国別分析ペーパーにおいて「全国運輸交通ネットワーク整備プログラム」の案件と位置付けられ、対バングラデシュ国別援助方針（2012年6月）の重点分野の1つ「中所得国化に向けた、全国民が受益可能な経済成長の加速化」の開発課題「経済インフラ整備」に係る支援として、我が国の援助方針と合致している。

#### (4) 他の援助機関の対応

バングラデシュ民間航空訓練校への訓練機材供与：フランス（1995-1999年）

### 3. 事業概要

#### (1) 事業の目的

本事業は、不足・老朽化しているバングラデシュの主要空港における航空保安設備の整備を行うことにより、同国における航空機運航の安全性、ならびに、航空機事故発生時対策およびテロ対策を図り、もって同国の航空分野における安全性の向上に寄与することを目的とする。

#### (2) プロジェクトサイト/対象地域名

ダッカ国際空港、チッタゴン国際空港、ジョソール空港、サイドプール空港

#### (3) 事業概要

- 1) 調達機器等の内容：空港監視レーダーおよび航空路監視レーダー（チッタゴン空港）、ドップラー式 VHF 多方向レンジ/距離測定装置（ジョソール空港、サイドプール空港）、航空管制訓練シミュレーター（ダッカ空港）、空港セキュリティ機材（ダッカ空港）、空港用消防車両（ダッカ空港）等
- 2) コンサルティング・サービス（詳細設計、調達監理を想定）
- 3) ソフトコンポーネント（設備・機材の活用・管理等）
- 4) 調達・施工方法：一般プロジェクト方式

#### (4) 事業実施体制

事業実施機関：民間航空・観光省 航空局（Civil Aviation Authority; CAAB）

#### (5) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

##### 1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類:C

② カテゴリ分類の根拠: 本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010年4月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

2) 貧困削減促進等：投資環境の改善を通じて雇用増大に寄与する。

#### (6) 他スキーム、他ドナー、他案件等との連携：特になし

#### (7) その他特記事項：特になし

### 4. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

#### (1) 類似案件の評価結果

過去の無償資金協力における類似案件（ネパール国トリブバン国際空港近代化プログラムにおける航空管制設備改善計画）の評価等では、運営維持管理に係る実施体制の構築の重要性、並びに、調達プロセスにおいて当事業に係る日本企業のアフターサービス体制の確保の重要性が示唆されている。

#### (2) 本事業への教訓

協力準備調査時にバングラデシュ側の維持管理体制と予算措置の状況及び機材の部品入手可能性などに十分留意する。また調達プロセスにおいて事業に関わる企業のアフターサービス体制を十分に確認する。

以上

〔別添資料〕地図

案件説明図



サイドプール空港

ダッカ国際空港

チッタゴン国際空港

ジェッソール空港